

「在日米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過

総合開発特別委員会（平成21年4月14日）以降の経過

4月13日（月）

「米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要」の苫小牧市航空機騒音対策協議会を開催

4月14日（火）

「米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要」の植苗・美沢地区地域説明会を開催。

4月15日（水）

「米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要」の沼ノ端地区地域説明会を開催。

4月16日（木）

「米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要」の勇払地区地域説明会を開催。

4月19日（日）

北海道防衛局訓練移転現地連絡本部設置。

4月20日（月）～23日（木）

20日に米軍再編に係る千歳基地への訓練移転の実施に関する現地説明会を開催。

米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転（共同訓練）が実施される。

4月24日(金)

最後の米軍22名帰還(米軍C-130輸送機使用)。
北海道防衛局訓練移転現地連絡本部閉所。

4月27日(月)

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」開催。

5月8日(金)

「苫小牧市在日米軍再編問題対策会議」開催。

6月11日(木)

苫小牧市航空機騒音対策協議会を開催し、米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転(共同訓練)の実施経過及び内容の説明を行う。

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する報告書

【 訓練期間 平成 2 1 年 4 月 2 0 日 (月)
~ 平成 2 1 年 4 月 2 3 日 (木) 】

平成 2 1 年 6 月
苫 小 牧 市

目 次

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）実績	1
米軍再編に係る各基地への訓練移転実績	2
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）経過	4
米軍再編に係る千歳基地における訓練移転（共同訓練）について （3月30日開催：米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会関係）	7
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要について （4月13日開催：米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会関係）	11
地域説明会の開催結果について	16
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する現地説明会関係	17
千歳基地における日米共同訓練の実施内容について	29
訓練期間中の苦情・問い合わせ結果について	30
訓練移転に伴う騒音測定結果について	31
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会（訓練検証）の結果	38
検証結果	42

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）実績

訓練月日	参加部隊	参加規模	演練項目	訓練空域	訓練回数	米軍人の外出
1 H20. 2.25 ~ H20. 2.28	海兵第12飛行大隊に所属する 派遣海軍部隊（岩国）	タイプ 訓練 F A - 18 x 4 機 人員 13名	戦闘機戦闘訓練等	三沢東方空域 秋田西方空域	2 回	なし
2 H20.12. 8 ~ H20.12.12	第18航空団（嘉手納）	タイプ 訓練 F - 15 x 5 機 人員 72名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域	5 回	あり
3 H21 4.20 ~ H21. 4.23	米海兵第12飛行大隊（岩国）	タイプ 訓練 F A - 18 x 5 機 人員 32名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域	1 回	あり

米軍再編に係る各基地への訓練移転実績 (1)

年度	基地名	訓練期間	米軍参加部隊	米軍参加規模		訓練タイプ	視察の有無	備考
				機種	人員			
18	年度計画はH19.1.11示される。回数の明記はないが小規模訓練(タイプ)が1回と思われる。							
	1	築城基地	H19. 3. 5(月) ~H19. 3. 8(木)	嘉手納	F - 15 4機	54人		有：道の連絡会議 道・苫小牧・千歳
計	築城1回		嘉手納1回			タイプ	1回	
19	年度計画はH19.1.31示される。訓練回数15回程度(タイプ 訓練12回程度、タイプ 訓練3回程度)							
	1	小松基地	H19. 5.16(水) ~H19. 5.23(水)	嘉手納	F - 15 5機	約80人	2名派遣	19日(土)、20日(日)の訓練は行われていない。
	2	築城基地	H19. 6.18(月) ~H19. 6.22(金)	岩国	F A - 18 5機	39人	無	
	3	三沢基地	H19. 7.16(月) ~H19. 7.21(土)	嘉手納 三沢	F - 15 5機	約80人	2名派遣	16日(祝)、21日(土)の訓練は行われていない。
	4	新田原基地	H19. 9. 3(月) ~H19. 9. 5(水)	嘉手納	F - 15 2機	14人	2名派遣	
	5	百里基地	H19.10.15(月) ~H19.10.19(金)	三沢	F - 16 5機	77人	2名派遣	
	6	小松基地	H19.11. 5(月) ~H19.11.16(金)	嘉手納	F - 15 12機	約180人	無	F - 15 事故調査のため中止
	7	百里基地	H20. 1.15(火) ~H20. 1.18(金)	三沢	F - 16 5機	85人	無	
	8	新田原基地	H20. 2.12(火) ~H20. 2.15(金)	岩国	F A - 18 2機	4人	無	
	9	千歳基地	H20. 2.25(月) ~H20. 2.28(木)	岩国	F A - 18 4機	13人	2名派遣	
計	小松1回 築城1回 三沢1回	新田原2回 百里2回 千歳1回	嘉手納3回 岩国3回 三沢3回			タイプ	8回	

注) 印は国から示される「訓練計画概要」による数値。

米軍再編に係る各基地への訓練移転実績 (2)

年度	基地名	訓練期間	米軍参加部隊	米軍参加規模		訓練タイプ	視察の有無	備考
				機種	人員			
年度計画はH20.6.20示される。訓練回数はタイプ 訓練、タイプ 訓練あわせて10回程度								
20	1 三沢基地	H20.7.23(水) ~H20.7.30(水)	嘉手納	F-15 6機	約80人		2名派遣	26日(土)、27日(日)の訓練は行われていない。
	2 新田原基地	H20.9.2(火) ~H20.9.4(木)	嘉手納	F-15 2機	18人		無	
	3 小松基地	H20.12.1(月) ~H20.12.5(金)	三沢	F-16 6機	約80人		無	
	4 千歳基地	H20.12.8(月) ~H20.12.12(金)	嘉手納	F-15 5機	72人		2名派遣	
	5 新田原基地	H21.2.23(月) ~H21.2.27(金)	嘉手納	F-15 5機	81人		無	
計	三沢 1回 新田原 2回	小松 1回 千歳 1回	嘉手納 4回 三沢 1回			タイプ 3回 タイプ 2回		
年度計画はH21.1.28示される。訓練回数15回程度(タイプ 訓練12回程度、タイプ 訓練3回程度)								
21	1 千歳基地	H21.4.20(月) ~H21.4.23(木)	岩国	F/A-18 5機	32人		2名派遣	

注) 印は国から示される「訓練計画概要」による数値。

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）経過

【 訓練期間：平成 21 年 4 月 20 日（月）～23 日（木） 】

- H21. 3.27（金） ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会開催連絡
- H21. 3.30（月） ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
連絡協議会開催（北海道防衛局）
 - ・ 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議開催
 - ・ 市長記者会見
 - ・ ホームページ掲載及び「市役所だより」掲載依頼
- H21. 3.31（火） ・ 苫小牧市航空機騒音対策協議会開催案内送付
- H21. 4. 2（木） ・ 全戸配布用「お知らせ」業者配送依頼（とまみん、日通）
（植苗・美沢地区、勇払地区 7 日配布、沼ノ端地区 7 日・10 日配布）
 - ・ 地域説明会日程を「市役所だより」へ掲載依頼
- H21. 4. 3（金） ・ 商工会議所、町内会連合会へ説明
- H21. 4.13（月） ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会開催正式連絡
 - ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
連絡協議会開催（北海道防衛局）
 - ・ 市長記者会見
 - ・ 詳細通知を市議へ通知
 - ・ ホームページ掲載及び「市役所だより」掲載依頼
 - ・ 苫小牧市航空機騒音対策協議会開催（沼ノ端リサイクルプラザ）
- H21. 4.14（火） ・ 総合開発特別委員会開催
 - ・ 商工会議所、町内会連合会へ詳細通知持参
 - ・ 医師会、警察署ほか関係機関に対し、詳細通知持参し協力依頼
 - ・ 北海道防衛局より、現地説明会開催の正式案内がある
 - ・ 植苗地区地域説明会（植苗ファミリーセンター）
- H21. 4.15（水） ・ 沼ノ端地区地域説明会（沼ノ端コミュニティーセンター）

- H21. 4.16 (木) ・勇払地区地域説明会（勇払公民館）
- H21. 4.17 (金) ・苫小牧市在日米軍再編問題対策会議協議部会開催
（総合政策部、環境衛生部、危機管理室ほか関係部署）
- H21. 4.19 (日) ・航空自衛隊千歳基地内に北海道防衛局訓練移転現地連絡本部設置
・米軍C - 9輸送機千歳基地到着（17：50到着、訓練関係人員20名到着）
・米軍C - 9輸送機千歳基地離陸（18：20離陸）
- H21. 4.20 (月) ・現地説明会開催
・米軍FA-18×5機（人員10名）千歳基地到着（12：50～13：20到着）
- H21. 4.21 (火) ・市職員2名、航空自衛隊千歳基地内へ（～24日）
・午前、午後各1回の訓練を予定している旨の通知がある
・午前に予定されていた訓練は、中止となる旨の通知がある
・C - 12輸送機で米軍の人員2名が千歳基地到着（10：30到着）
・C - 12輸送機千歳基地離陸（11：30離陸）
・午後に予定されていた訓練は、中止となる旨の通知がある
- H21. 4.22 (水) ・午前、午後各1回の訓練を予定している旨の通知がある
・午前に予定されていた訓練は、天候上の理由で中止となる旨の通知がある
・午後、米軍機（FA-18×4機）、自衛隊機（F-15×4機）
北海道西方空域において訓練
- H21. 4.23 (木) ・米軍の戦闘機FA-18×5機（人員10名）帰還のため千歳基地離陸
（10：20離陸）
・米軍の戦闘機の帰還に伴い、千歳基地での訓練は終了したとの通知がある
・市長記者会見
- H21. 4.24 (金) ・米軍C - 130輸送機千歳基地到着（13：30到着）
・米軍C - 130輸送機千歳基地離陸（14：20離陸、人員22名帰還）
・北海道防衛局訓練移転現地連絡本部閉所
・訓練終了をホームページ掲載及び「市役所だより」掲載依頼
・医師会、警察署ほか関係機関に対し、訓練終了の連絡

- H21. 4.27 (月) ・米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
連絡協議会開催連絡あり
- ・米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
連絡協議会開催（北海道防衛局）
- H21. 5. 8 (金) ・苫小牧市在日米軍再編問題対策会議開催（訓練結果報告）
- ・訓練移転について空港政策課、環境保全課合同の検証
- H21. 6.11 (木) ・苫小牧市航空機騒音対策協議会開催（訓練結果報告）

平成21年3月30日

北海道防衛局

米軍再編に係る千歳基地における訓練移転(共同訓練)について

米軍再編に係る訓練移転として、現在、千歳基地において4月下旬に訓練を実施する方向で日米間で調整中です。

訓練移転の期日、参加部隊等の具体的な計画の概要については、決まり次第、お知らせします。

以上

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する 連絡協議会での要請及び質問事項

北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

訓練の期間や参加する部隊などの詳細については、今後、改めて通知される
とのことですが、訓練の実施にあたっては、地元市民をはじめとする道民の不
安や懸念を踏まえ、千歳市、苫小牧市及び道で構成する「連絡会議」として、
次の5項目について要請いたします。内容はこれまでも要請してきたことだが、
改めて確認の意味も含めて要請する。

土曜日・日曜日及び早朝・深夜の訓練を実施しないことなど、これまでの
両市との協議経過を踏まえ、協定の内容を確実に遵守すること。

自衛隊が通常使用している訓練空域や飛行経路、飛行方法によること。

訓練の安全管理及び米軍人の本道滞在中における規律の維持に万全の対応
を行うこと。

訓練期間中は、貴局において騒音測定を実施するとともに、できる限り早
期に結果を公表すること。

訓練に参加する戦闘機に関し、整備・点検など安全確保に万全を期すこと。

北海道の個別要請

地元意向を踏まえ、説明会の開催など、訓練に関する情報の提供をお願いす
る。

千歳市の個別要請

これまでの2回の訓練実施のあたり、協定の遵守などに配慮いただいているおり、ただいま北海道からも「連絡会議」として、お話いただいたが、重ねて要望する。

今後の具体的な訓練計画の策定にあたっては、協定内容を遵守していただきたい。

特に、市民の不安を払拭するためには、無事故が大前提となるので、訓練の安全確保、治安対策に万全の体制をとっていただきたい。

千歳市では、訓練に参加する米軍人が外出することを前提として、市内の飲食店等の関係者と情報の共有化を図り、共通の理解の下で緊急の連絡体制の確認のための連絡調整会議を開催している。前回訓練時も開催し、その際には北海道防衛局から職員を派遣していただき説明していただいた。今回も担当職員の派遣について、特段のご配慮をお願いしたい。

今回訓練する米軍の部隊が判明していれば、教えていただきたい。

現地連絡本部に設置する市民からの問合せ電話について、過去2回は携帯電話だったが、固定電話の設置を検討いただきたい。

苫小牧市の個別要請

昨年の2月、12月に実施された訓練については、北海道防衛局のご尽力もあり、無事終了したことにお礼申し上げます。

今回の訓練についても、同様の対応をしていただけると考えているが、市民の安全・安心を確保する立場から4項目要望する。

これまでの協議経過を踏まえ、協定書及び協議・確認書を遵守していただきたい。

現地説明会及び米軍ブリーフィングを開催していただきたい。

米軍人の外出時の対応及び訓練に関する情報提供を速やかに行っていただきたい。

訓練終了後の検証は必ず行っていただきたい。

回 答【 北海道防衛局 】

協定は今後も遵守し、関係自治体との協議確認経過を踏まえて訓練を実施したい。

土日・祝日、深夜・早朝の訓練、訓練空域、飛行経路、飛行方法については、米軍機も航空自衛隊と同様の方法で行う。

千歳基地滞在中の米軍人の規律の維持については、北海道防衛局のみならず、防衛省として、米側に対して隊員の教育や綱紀粛正の徹底を図るなど、様々なレベルからの申し入れを行っている。北海道防衛局としても、これまでと同様に米側に対して申し入れを行っていきたい。

訓練期間中における騒音測定については、これまでと同様に実施し、できるだけ速やかに公表したい。

訓練の安全確保については、訓練に参加する航空機は平素から整備や飛行前、飛行後の点検を適切に実施していると承知しているが、更なる安全確保について、米軍側に求めて行きたい。

関係自治体や報道機関への情報提供については、可能な限り提供して行きたい。

現地説明会は、これまでの実績を踏まえて実施して行きたい。

米軍のブリーフィングは、前回米軍側からの要望があって実施した経緯がある。今回の要望については、米軍側に伝えたい。

米軍人の外出時における北海道防衛局の対応については、これまで2回の実績を踏まえて各種サポート等を行い、トラブルの未然防止に努めたい。

千歳市の連絡調整会議への出席については、過去の実績と要望を踏まえて検討したい。

移転元部隊は検討中なので、決まり次第速やかにお伝えしたい。

一般の方からの問合せの電話については、本日の要望を踏まえ検討したい。

訓練終了後の検証は、これまでの実績を踏まえ適切に対応したい。

平成21年4月13日
北海道防衛局

米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転(共同訓練)
に関する訓練計画概要について

米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転(共同訓練)に関する訓練計画概要について、次のとおりお知らせします。

○期 日：平成21年4月20日(月)～23日(木)

○参加部隊：〔米軍〕

米海兵第12飛行大隊(岩国)

〔航空自衛隊〕

第2航空団、北部航空警戒管制団

○使用基地：千歳基地

○演練項目：戦闘機戦闘訓練等

○使用訓練空域：北海道西方空域、三沢東方空域

○参加規模：タイプI訓練

〔米軍〕

F A-18×5機程度

人員約30名(岩国)

※人員、器材等輸送のため輸送機が事前に飛来予定

〔航空自衛隊〕

F-15×5機程度

以 上

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する 連絡協議会での要請及び質問事項

北海道防衛局より前回の協議会開催時（H21.3.30）に 検討事項としたものについての説明

- ・ 現地説明会の実施については、4月20日（月）午前中に開催することを考えており、具体的な案内については、後日連絡する。
- ・ 米軍による、ブリーフィングについては、米側に伝えたところ、実施可能とのことなので、前回と同様現地説明会の前になると思うが実施する。時刻などについては、別途案内をする。
- ・ 千歳市から要望のあった「連絡調整会議」への局職員の出席については、出席させることとする。
- ・ 市民からの問い合わせ用電話の設置については、従来の携帯電話に加えて、固定電話も設置することとした。

北海道の個別要請

先月30日の通知の際にも、千歳市、苫小牧市及び道で構成する「連絡会議」として、協定の遵守など5項目について要請をしてきたところであり、貴局からも「最大限努力する」との回答をいただいているが、重ねてのお願いとなりますが、先の要望事項全般について、再度よろしく願いするとともに、住民の不安や懸念を解消するためには、訓練に関する様々な情報が可能な限り提供される必要があると考えており、説明会の実施など情報提供に努めていただけるとのことではありますが、よろしくお願いたします。

千歳市の個別要請

3月30日の協議会において要請させていただきましたが、再度「訓練全般にわたる安全の確保とともに、万が一にも事件が発生しないよう米軍人の規律の維持を図っていただきたい。」ということを重ねて申し上げます。

2点質問をさせていただきます。

機材を輸送する輸送機の展開・撤収の日程はどのようになるのか。
米軍関係者の宿泊場所及び米兵の外出の可能性について。
以上の点について、判っている範囲で教えていただきたい。

苫小牧市の個別要請

3月30日開催の連絡協議会の際にも、北海道、千歳市、苫小牧市で構成する「連絡会議」として、また苫小牧市といたしましても協定等の遵守のほか、訓練の安全管理及び米軍人の規律の維持について要請したところでありますが、市民の安心・安全のため万全の体制で訓練を行うよう重ねてお願いをするものであります。

3点ほど質問をさせていただきます。

現地説明会及び米軍によるブリーフィングを開催するとのことですが、前回同様に住民の代表の方も参加可能かお伺いします。

岩国基地への派遣海軍部隊が訓練に参加することになるが、この派遣部隊が所属する「隊」の概要をお知らせ願いたい。また、この部隊の派遣ローテーションについてもお知らせ願いたい。

今回、訓練に参加するF A - 18の機種は、昨年12月米国カリフォルニア州で墜落事故を起こしているが、この事故原因は事故機固有のものなのか。今回訓練に参加する同型機の点検は万全なのでしょうか。

今回の訓練への対応ですが、前回と同様で変更はないと考えてよろしいか。

回 答【 北海道防衛局 】

- ・ 先般の要請項目については、これまでと同様ですが、周辺住民の安心・安全のため最大限努力し、万全の体制で臨みたいと考えている。
- ・ 現地説明会への住民代表の参加については、参加可能です。
- ・ 米軍の展開・撤収の日程は、戦闘機は4月20日に展開、23日に撤収の予定であります。輸送機は現時点ではボーイング737の軍用機で輸送する予定。詳細な日程については調整中とのことで、20日に先遣隊が入って来るのではないかと情報が確定ではないが入っております。
帰るのは確定していないが、訓練が23日までなので、我々としてはすぐ後と思っている。
- ・ 米軍関係者の宿泊場所は千歳基地内の予定です。米軍の外出の可能性は、指揮官が決定することで、現時点では判らない。
- ・ 協定の遵守については、歴史がいろいろありますが、協定の内容は当然遵守しますし、これまでの関係自治体との協議、確認経過というものが積み上がっておりますので、これを踏まえて訓練移転を実施して行きたいと思えます。
- ・ 訓練の安全管理については、日米問わず訓練に参加する戦闘機については日頃から安全点検等を適切に実施していると承知しておりますが、改めて安全確保について米側に求めて行きたいと考えている。
- ・ 米軍人の規律維持については、平素から、防衛省としては米側に対し隊員の教育や綱紀粛正の徹底を図るなど、様々なレベルで申し入れを行っていますが、改めて、来道した部隊に対しては、申し入れを行っていきたいと考えている。
- ・ 訓練に参加する米軍の隊は岩国に所属していますが第225戦闘攻撃中隊です。この中隊は平成21年3月13日、6か月毎の部隊交代でカリフォルニア州のミラマー基地から到着した部隊です。
- ・ 昨年12月8日カリフォルニア州で発生したF A - 18墜落事故の原因に

については、米側によると「パイロット等が安全のための確認及び適切な手順を踏まず飛行したことが原因であった」とのことであり、当該事故はいわゆる人的なミスによるものであり、米側としても今回の事故を受け、飛行の安全確保に万全を期すよう、軍人各レベルごとの安全教育の徹底を図っているものと承知しています。

日本政府としても、米側に対し、航空機の運用に当たっては、安全確保を期すよう働きかけていると承知しております、いずれにしましても、当局としてもさらなる安全確保について米側に求めることとしております。

- ・ 訓練への対応ですが基本的には前回と同様な考え方で進めようと思っております。

地域説明会の開催結果について

1 会場別出席者数及び質問者数

区 分	植苗・美沢地区	沼ノ端地区	勇払地区
日 時	H21.4.14 (火) 19:00～19:40	H21.4.15 (水) 19:00～19:30	H21.4.16 (木) 19:00～19:30
会 場	植苗ファミリーセンター	沼ノ端コミュニティセンター	勇払公民館
出席者数	29人(男23、女6)	18人(男17、女1)	9人(男9、女0)
質問者数	6人	2人	2人

三地区合計

出席者数 56人(男49人、女7人)

質問者数 10人

2 三地区地域説明会における質問・意見等について

【三地区共通で多く寄せられた質問等】

- ・ 訓練内容について 7件(23.4%)
(訓練回数、参加規模タイプ・人数、訓練時間など)
- ・ 米兵の外出、外泊、宿泊について 6件(20.0%)
- ・ 騒音問題について 4件(13.3%)
(騒音の度合、F-15とFA-18の騒音の違いなど)
- ・ 地域説明会資料について 3件(10.0%)

【その他】

- ・ 沖縄負担軽減問題について 2件(6.7%)
- ・ FA-18の墜落事故について 2件(6.7%)
- ・ 岩国基地の状況把握について 2件(6.7%)
- ・ 地域説明会への防衛局参加について 1件(3.3%)
- ・ 訓練計画概要の事前通知について 1件(3.3%)
- ・ 現地説明会・ブリーフィングについて 1件(3.3%)
- ・ 訓練の監視体制について 1件(3.3%)

合 計 30 件

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する現地説明会」質疑応答

平成 21 年 4 月 20 日開催

質 問 事 項	回 答
<p>米軍によるブリーフィング</p> <p>【 質問：渡辺(満)員 】 岩国には FA - 18D が所属していますが、それ以外に FA - 18 ホーネットが 12 機口ーテーションしていま。今回の訓練の参加が何故 FA - 18D この機種になったのか。</p> <p>【 質問：西野議員 】 岩国に所属している米軍と、今回カリフォルニアからの部隊との関係についてどういふふうになっているのか、位置付けはどういふつながりを持っているのでしょうか。</p> <p>【 質問：渡辺(満)員 】 外出計画はあると聞いておりますが、新田原では外泊がありました。今回は外泊はないと理解してよろしいでしょうか。</p>	<p>【 回答：米軍 】 FA - 18D という機種が岩国基地へ配備されておまして、今回は部隊の運用ということで FA - 18D の部隊となりました。</p> <p>【 回答：米軍 】 カリフォルニアの中隊はデルタ中隊ということでありませ。現在はこの部隊とは全く別の部隊となります。</p> <p>【 回答：米軍 】 今回は、外泊計画はありません。こちらの規律に従って、毎日 9 時に戻るといふことを行う予定です。</p>
<p>訓練に転移係る説明会</p> <p>【 質問：松井議員 】 過去の訓練は 14 回行われました。沖縄の負担軽減は、再三議会でも議論になり、また北海道防衛局へも問い合わせをして、回答を 21 年 2 月 13 日にいただいたところませ。しかし、この回答といふのは、負担軽減に対する資料を持ち合わせていないといふ回答でありませ。ここで聞きたいのは、移転受け入れする前に地元と当時の札幌防衛局との間で、</p>	<p>【 回答：北海道防衛局 】 残念ながら、今手元にデータはありません。17 年当時、多分前年度の数字だと思ひませが、72,000 回といふことで、かなり変動幅が大きいのは事実でして、私の記憶によりませとそれより、もっと多い数字を使っているといふ記憶しております。具体的に今現在、どういふふうになっているかといふ数字は持ち合わせていません。</p>

質 問 事 項	回 答
<p>平成 17 年 12 月 11 日に回答をいただいておりますが、嘉手納基地での離発着の回数が年間約 72,000 回ということになっております。</p> <p>当時の離発着の数とその後の訓練移転による離発着との数は大きく違ってくるのではないかと思います。今その数字を持ち合わせていればお示しをいただきたい。離発着の回数についてご説明をいただきたい。</p> <p>【 質問：中野副市長 】</p> <p>連絡協議会の中で、協定書の遵守、あるいは米軍人の規律の維持について、再三要望しているところでございます。</p> <p>市民の安心・安全を守るという立場から、きめ細やかな情報をいただきたいと考えておりますが、先ほどの質問の中で米軍人の外泊につきまして、外泊はないというお話でありましたが、前回の事前のお話の中では基地内に宿泊するというところでございましたが、事後の検証の中で、若干名外泊されたということでございましたので、そういうことが事前に判れば市の方に連絡いただきたいと思ます。</p> <p>外出についても、苫小牧方面に外出するということが事前に判ればそうした情報もいただけるのかどうかお聞きしたい。</p> <p>【 質問：山中議員 】</p> <p>今回の資料の中にも示されておりますが、21 年度の年度計画、そして又 19・20 年度の訓練実施計画が示されておりますが、19 年度の当初計画はタイプ で 12 回、タイプ が 3</p>	<p>【 回答：北海道防衛局 】</p> <p>昨年の 12 月、輸送機の遅延の関連で若干名が外泊しました。</p> <p>当初から、予定はしていなかったのですが、輸送機の遅延が原因となっております。</p> <p>ちなみに、これにつきましては、前日に市の方には連絡をしていると聞いております。今回は外泊はないということですが、もし仮にあれば、なるべく早い時点でお伝えしていきたい。</p> <p>外出につきましては、苫小牧方面が果たして判るかどうかということになりますので、なかなか難しいのか、どこへ向けて外出するというところまでは難しいのかなと思っております。</p> <p>【 回答：北海道防衛局 】</p> <p>基本的に訓練移転は 2 つの要因から成り立っており、1 つは先ほどお話がありました嘉手納、岩国、三沢の戦闘機を扱っている基地の負担軽減と、もう 1 つは航空自衛隊との共</p>

質 問 事 項	回 答
<p>回、20年度はタイプ・が10回と示されていたが、結果的に訓練の実施は8回と3回ということで、決して数多く予定どおり訓練を実施して欲しいという意味ではございませんが、この年度計画に示される回数はどういった根拠で示されているのか。おそらく、訓練の目的なり又それぞれの米軍基地での騒音軽減を含めての検討結果が年度として示されているものと思っておりますが、あくまでこれは私の想像でありますので、もし根拠がしっかりあるのであればお聞かせ願いたい。</p> <p>【 質問：西野議員 】</p> <p>前回の現地説明会でも、沖縄嘉手納の負担軽減の関係データについて要望してはいたのですが、資料を持ち合わせていないという回答しかいただけていないところです。今回改めて負担軽減についての数値を含めた資料の提出をしていただけるのかどうか。離発着回数の問題を含め、嘉手納基地を取り巻く任務・訓練と色々あるのですが、共同訓練移転前の訓練回数、そして訓練移転された以降の今の訓練回数がどのように変わっているのかを教えてくださいたいと思っておりますので、年間の離発着回数の中の訓練部分について、ぜひ資料として出していただきたい、出していただけるのか。</p> <p>前回は、内容については特に持ち帰って検討したいというお答えで、先程の回答はそのデータは今持ち合わせていないという回答しかいただけていないので、そのようなことはないと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>	<p>同運用の向上という目的があります。</p> <p>回数につきまして、例えば計画していたが参加する部隊の都合など色々な要因が絡み合っておりまして、過去の計画が全て達成されていないのが事実でございます。昨年は非常に少なく、色々な要因その他がありましたが、いずれにしても米軍移転としては、今年タイプが12回、タイプが3回を念頭に計画されている。具体的にどのような計算式で出されているか承知はしておりませんが、目的を考慮しながら決められているものと認識しています。</p> <p>【 回答：北海道防衛局 】</p> <p>ご要望の趣旨につきましては、今ここで回答する資料を持ち合わせていないとできないことですので、本省を通じて伝達したいと思っております。</p>



千歳基地への訓練移転(共同訓練)について

平成21年4月20日(月)



北海道防衛局

- 1 今回の訓練(共同訓練)の計画概要
- 2 訓練移転(共同訓練)概要
- 3 平成21年度訓練計画
- 4 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部の設置
(1)現地連絡本部の編成
(2)現地連絡本部の業務
- 5 これまでの訓練移転(共同訓練)の実績

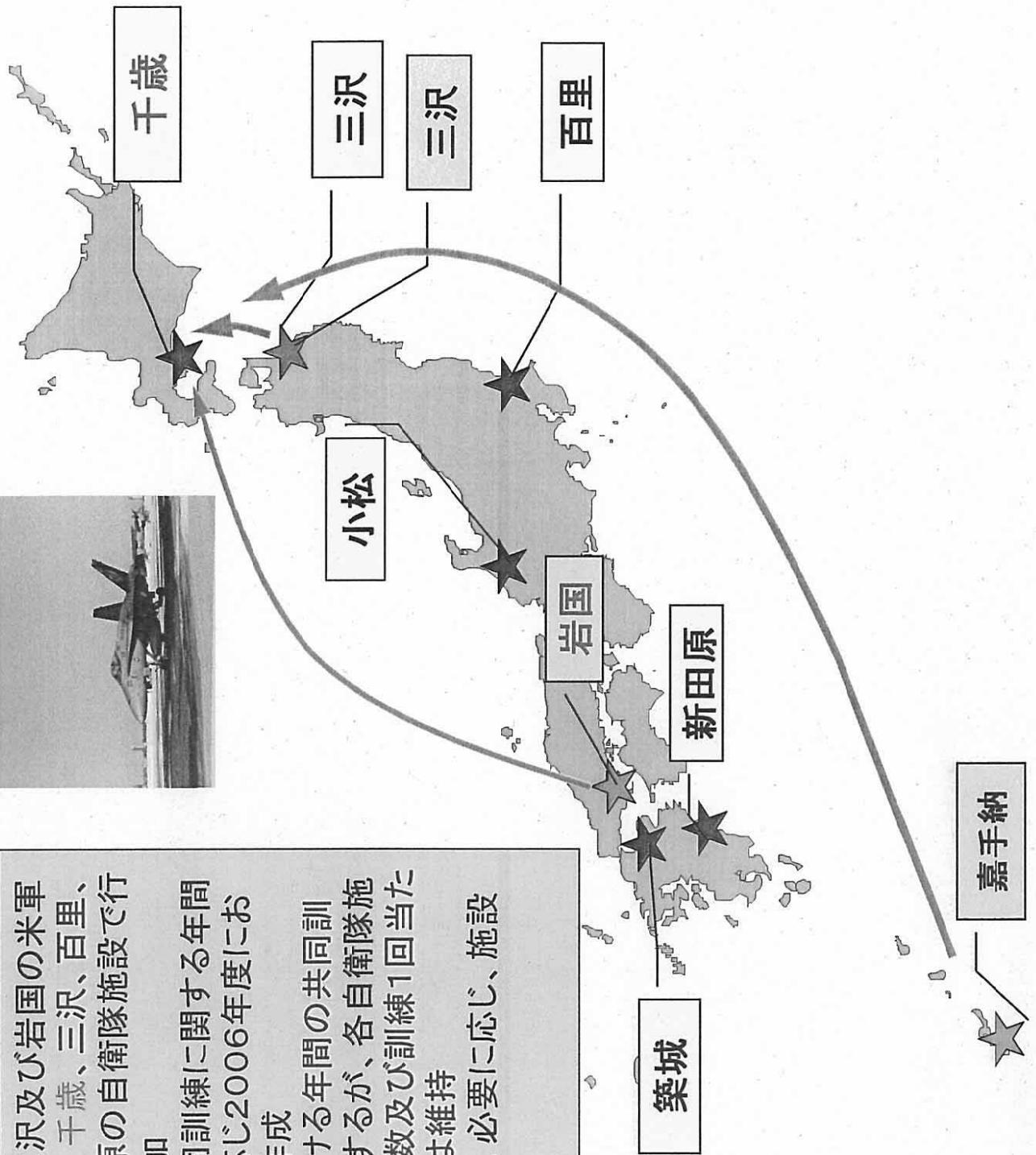
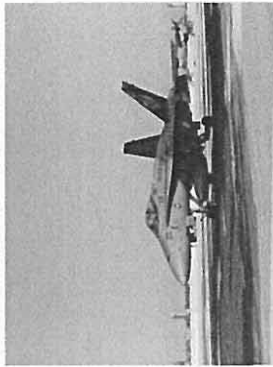
1 今回の訓練(共同訓練)の計画概要

- 4月13日(月)、当局から地元自治体へ通知するとともに、防衛本省において公表。

項目	米軍	航空自衛隊
期日	平成21年4月20日(月)～23日(木)	
参加部隊	米海兵第12飛行大隊(岩国)	第2航空団、 北部航空警戒管制団
演練項目	戦闘機戦闘訓練等	
訓練空域	北海道西方空域、三沢東方空域	
参加規模	FA-18×5機程度 約30名	F-15×5機程度

2 訓練移転(共同訓練)の概要

- 当分の間、嘉手納、三沢及び岩国の米軍施設からの航空機が、千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原の自衛隊施設で行われる移転訓練に参加
- 2007年度からの共同訓練に関する年間計画を作成。必要に応じ2006年度における補足的な計画を作成
- 日米合同委合意における年間の共同訓練回数制限を撤廃するが、各自衛隊施設の年間の総使用日数及び訓練1回当たりの使用期間の制限は維持
- 現地調査を実施の上、必要に応じ、施設整備を実施



3 平成21年度訓練計画

平成21年度訓練計画(平.21.1.28.公表)

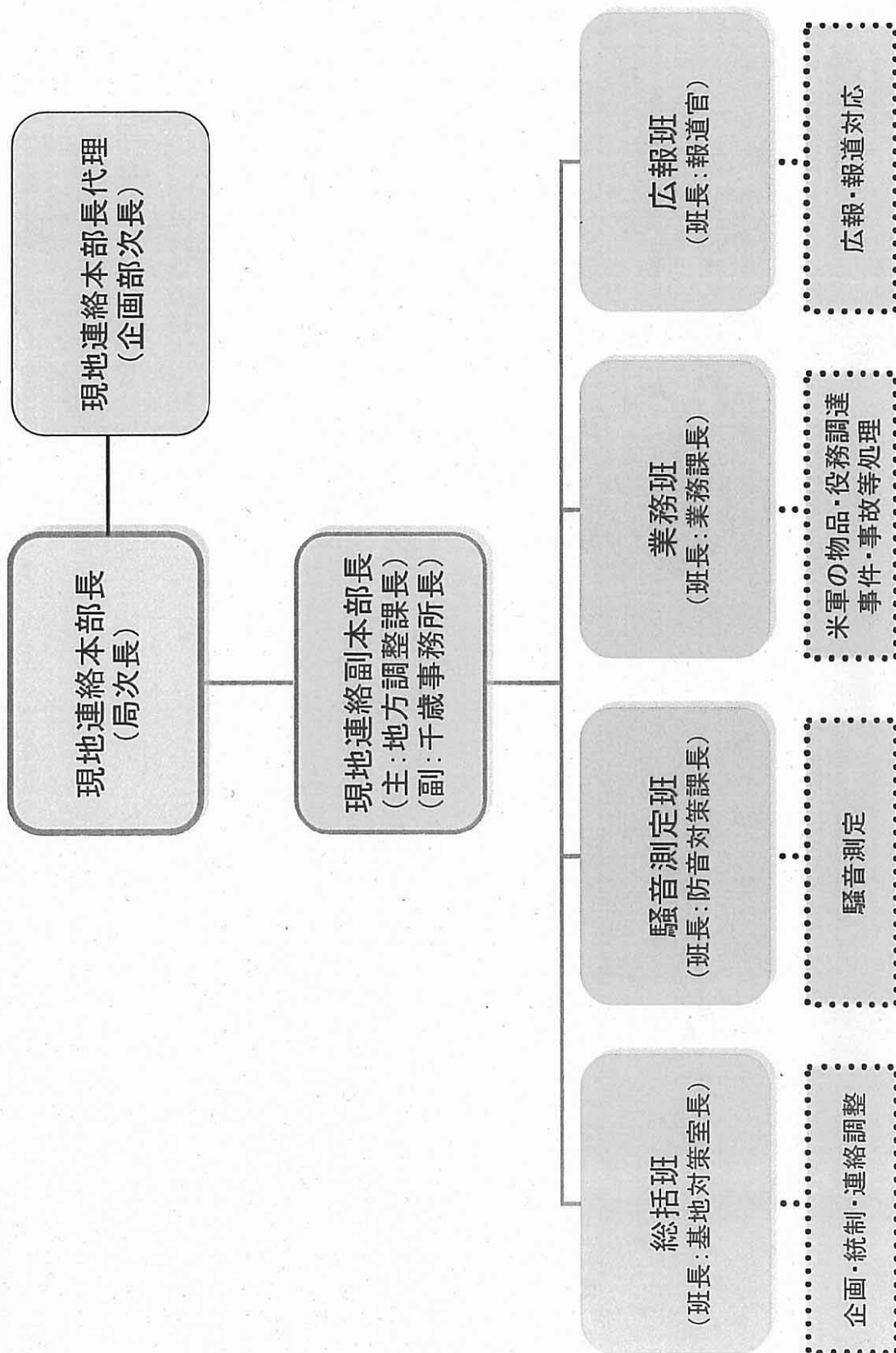
- 1 平成21年度の米軍再編に係る訓練移転については、タイプI訓練12回程度、タイプII訓練3回程度の実施を目標に計画する予定。
- 2 個々の訓練計画概要(訓練規模、訓練期日等)については、決まり次第、関係自治体等にお知らせ。

【タイプI訓練:1回につき1~5機の米軍機が1~7日間参加する訓練】

【タイプII訓練:1回につき、6~12機の米軍機が8~14日間参加する訓練】

4 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部の設置－(1)現地連絡本部の編成

○訓練期間中、千歳基地に現地連絡本部を設置(設置日:4月19日(日))



4 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部の設置－(2)現地連絡本部の業務

- 現地連絡本部では、米軍への各種支援（通訳支援、広報支援、広報支援、食事・飲料水の調達支援等）地元自治体、関係機関及び報道機関への訓練情報への提供、各種問い合わせへの対応に当たるとともに、日米戦闘機の騒音測定を実施。
- この他に、訓練実施の有無や騒音測定結果（速報値）等の訓練に関する情報について、地元自治体、関係機関及び報道機関に対し、随時情報提供を実施。



騒音測定作業状況

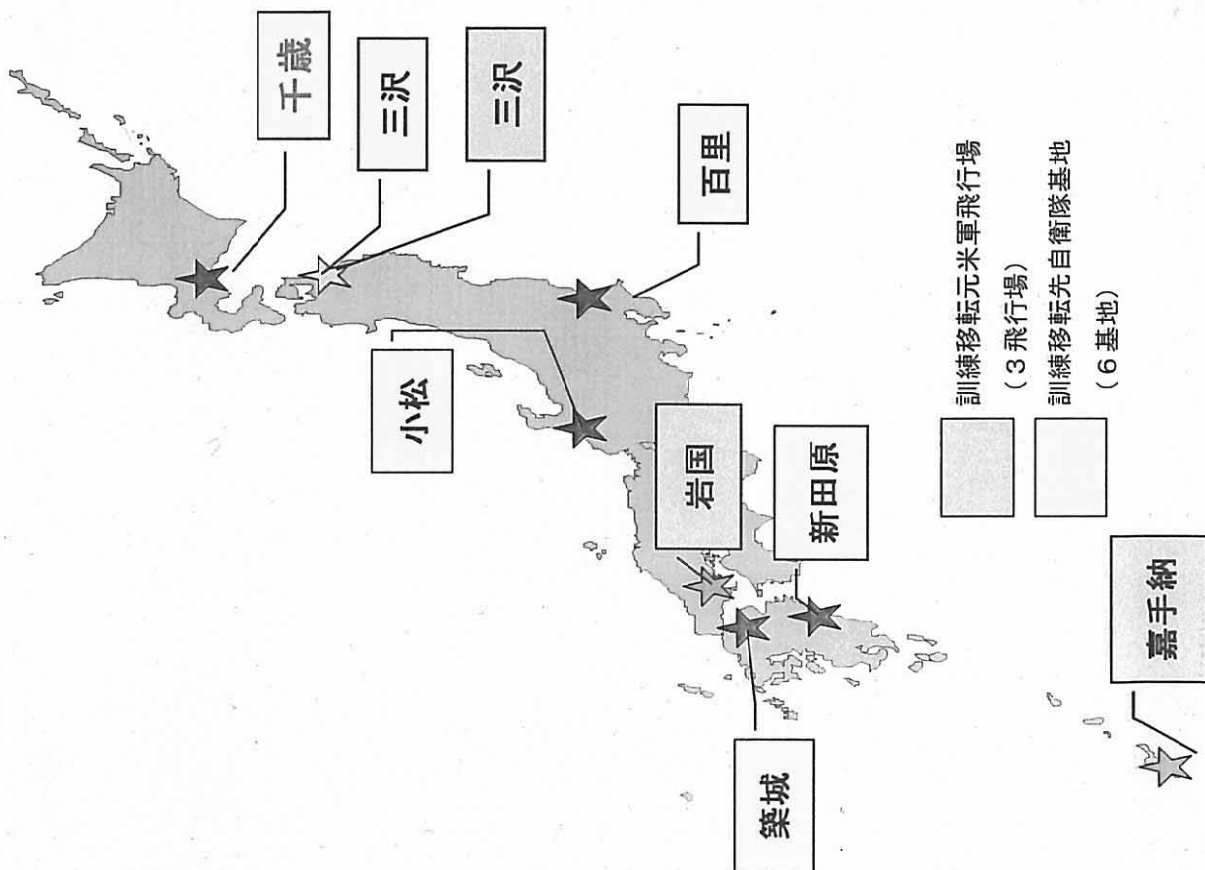


現地説明会実施状況



米軍ブリーフィング実施状況

5 これまでの訓練移転(共同訓練)の実績



【訓練移転(共同訓練)の実績】

- 18年度訓練移転実績
 - 3月 嘉手納から築城基地 (タイプI)注
- 19年度訓練移転実績
 - 5月 嘉手納から小松基地 (タイプI)
 - 6月 岩国から築城基地 (タイプI)
 - 7月 嘉手納から三沢基地 (タイプI)
 - 9月 嘉手納から新田原基地 (タイプI)
 - 10月 三沢から百里基地 (タイプI)
 - 1月 三沢から百里基地 (タイプI)
 - 2月 岩国から新田原基地 (タイプI)
 - 2月 岩国から千歳基地 (タイプI)
- 20年度訓練移転実績
 - 7月 嘉手納から三沢基地 (タイプII)
 - 9月 嘉手納から新田原基地 (タイプI)
 - 12月 三沢から小松基地 (タイプII)
 - 12月 嘉手納から千歳基地 (タイプI)
 - 2月 嘉手納から新田原基地(タイプI)

注:タイプI:1回につき1~5機の米軍機が1~7日間参加
 タイプII:1回につき6~12機の米軍機が8~14日間参加

【参考資料】地元自治体との協定等

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する協定」(平成19年1月26日)

札幌防衛施設局(現北海道防衛局)と千歳市及び苫小牧市との間で締結

- 【内容】● 千歳基地の位置付け ● 生活環境の整備について
- 市民の安全・安心対策について
 - 移転される米軍機の訓練形式等について
 - 地元への情報提供について

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」(平成19年1月29日)

札幌防衛施設局(現北海道防衛局)と北海道、千歳市及び苫小牧市との間で設置

【訓練計画の情報提供に関すること等について協議するために設置】

※オブザーバー参加
(厚真町、安平町、恵庭市、北広島市、栗山町、長沼町、由仁町)

※「千歳基地に係る米軍航空事故等連絡会議」(平成19年1月29日)

札幌防衛施設局(現北海道防衛局)と千歳基地周辺の関係機関とで設置

【事故等発生時に関係機関相互間の緊密かつ迅速な連絡調整体制の整備等について協議するため設置】

千歳基地における日米共同訓練の実施内容について

期 日	平成21年4月20日(月) ~ 平成21年4月23日(木)
訓練回数	4月22日 午後1回 米軍機(F A - 18×4機) 自衛隊機(F - 15×4機) 4月21日午前・午後各1回、4月22日午前の計3回の訓練は 天候上の理由により中止
参加部隊	米 軍 : 米海兵第12飛行大隊(岩国) 航空自衛隊 : 第2航空団 北部航空警戒管制団
使用基地	千歳基地
演練項目	戦闘機戦闘訓練等
訓練空域	北海道西方空域
参加規模	タイプ 訓練 米 軍 : F A - 18×5機 人員32名 航空自衛隊 : F - 15×4機 パイロット4名・整備要員外
米軍の 移動関係	19日(日) : C - 9輸送機1機 到着(17:50) 人員20名 到着 C - 9輸送機 帰還(18:20) 20日(月) : F A - 18×5機 到着(12:50~13:20) 人員10名 到着 21日(火) : C - 12輸送機1機 到着(10:30) 人員2名到着 C - 12輸送機 離陸(11:30) 23日(木) : F A - 18×5機 帰還(10:20) 人員10名 帰還 24日(金) : C - 130輸送機1機 到着(13:40) C - 130輸送機1機 帰還(14:20) 人員22名 帰還
米軍人 外出状況	外出あり(千歳市内、札幌方面)
現 地 連絡本部	設 置 : 平成21年4月19日(日) 閉 所 : 平成21年4月24日(金)

訓練期間中の苦情・問い合わせ結果について

苫小牧市

苦情・問い合わせ等はなかった。

千歳市

苦情・問い合わせ等はなかった。

現地連絡本部

苦情・問い合わせ等はなかった。

訓練移転に伴う騒音測定結果について

平成21年4月20日(月)～4月23日(木)

- 資料
- 1 騒音測定結果(苫小牧市臨時測定および北海道・苫小牧市常設局分)確定値
 - 2 苫小牧市内航空機騒音常設局 WECPNL(うるささ指数)
 - 3 国の常時測定局及び臨時測定点の騒音測定結果・常時測定結果(W値)
 - 4 評価
 - 5 騒音測定地点(別添)

平成21年4月 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転時の騒音測定結果確定値(苫小牧市臨時測定および北海道・苫小牧市常設局分)

【騒音測定結果】		(米)：米軍機		(自)：自衛隊機		最大ヒートマップレベル(dB)													
		測定場所		苫小牧市臨時測定結果		苫小牧市常設局測定結果		北海道常設局測定結果											
日時・機種の別・機種	飛行の目録	沼ノ端北5号公園	沼ノ端南7号公園	新明5丁目ひまわり公園	植苗会館局	丹拾沼局	穂田荘局	沼ノ端東局	沼ノ端局	植苗局	ウトナイ局	美沢局	網岬局	香胤宅局	植苗公園局	勇払局	沼ノ端東雲局	勇払東局	
4月20日	飛来のみ 千歳側着陸 FA-18(米)×3機 12:50 FA-18(米)×2機 13:20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		1回目	2回目	天候上の理由により訓練中止															
4月21日	訓練空域：北海道西方空域(C)	天候上の理由により訓練中止																	
4月22日	2回目 千歳側着陸 F-15(自)×2機 14:41 F-15(自)×2機 14:44 FA-18(米)×2機 14:49 FA-18(米)×2機 14:52 F-15(自)×2機 15:44 F-15(自)×2機 15:47 FA-18(米)×2機 15:50 FA-18(米)×2機 15:52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1回目	天候上の理由により訓練中止																
4月23日	帰還のみ 帰還 千歳側着陸 FA-18(米)×3機 10:05 FA-18(米)×2機 10:12	-	-	-	70 10-05:01 68 10-12:42	67 10-04:52	76 10-05:04 67 10-12:24	-	-	70 10-04:50 62 10-12:34	-	77 10-05:06 72 10-12:38	-	-	66 10-05:01 68 10-12:42	-	-	-	-
		最高値	FA-18(米)	千歳側離陸時	千歳側着陸時	苫小牧側離陸時	苫小牧側着陸時	最高値	FA-18(米)	千歳側離陸時	千歳側着陸時	苫小牧側離陸時	苫小牧側着陸時	最高値	FA-18(米)	千歳側離陸時	千歳側着陸時	苫小牧側離陸時	苫小牧側着陸時
FA-18(米)	国の騒音推定値	76	70	88	82	85	90	85	91	94	93	74	77	92	74	77	92	74	72

【参考値】	平成20年度(年間)	最高値																	
		平均	98	97	91	91	98	99	102	91	92	92	97	94	96	90			
前々回訓練移転(1120.2)	最高値	93.5	92.0	64.5	81	83	96	85	99	77	85	78	80	89	81				
	前回訓練移転(1120.12)	87	93	82	73	75	85	89	87	73	78	65	74	96	74				
備考	最高値	80	86	63	76	78	83	77	85	77	70	83	69	82	67				

- ① 測定値は、60dB以上の音が5秒以上継続したデータです。
- ② 上記表中の「-」は航空騒音の観測が無かったことを表しています。
- ③ 上記表中の騒音値時間は最高騒音の発生時刻を表しています。
- ④ 確定値は訓練期間中発表された「速報値」を後日、国・道の騒音の両方の騒音を含んで精査した結果であり、「速報値」とは異なる部分があります。
- ⑤ 平成20年度(年間)の測定値は、70dB以上かつ5秒以上の自衛隊機・民航機の両方の騒音を含んでいます。(中・道の騒音測定の通常の取り扱いと同様)

苫小牧市内航空機騒音常設局 WECPNL(うるささ指数)

局舎名	苫小牧市常設局					北海道常設局								
	植苗会館局	丹治沼局	琥珀荘局	沼ノ端東局	沼ノ端局	植苗局	ウトナイ局	美沢局	湖畔局	斉藤宅局	植苗公園局	勇払局	沼ノ端東雲局	勇払東局
測定日	57	65	59	58	57	65	63	56	64	49	65	58	59	57
訓練移転期(中止日を除く)	57	68	61	61	67	67	66	60	64	53	70	58	66	58
	51	73	56	64	75	72	77	59	72	54	75	68	67	66
平成21年 過去3ヶ月	61	75	64	67	68	71	71	67	72	57	65	61	61	56
	63	73	65	66	77	72	78	62	71	60	70	64	65	62
	67	73	68	66	69	72	74	67	72	61	70	63	67	62
平成18年	67	75	68	70	71	74	76	72	74	73	73	66	70	66
平成19年	67	75	69	68	74	72	76	67	74	66	74	67	75	66
平成20年	63	75	65	68	68	72	74	67	74	57	71	67	69	67

※ WECPNL(加重等価平均感覚騒音レベル)

一般に『うるささ指数』と呼ばれることもあり、特に夜間の騒音を重視して、騒音の強度のほかにその頻度、継続時間帯の諸要素を加味して、航空機騒音の特徴をよく取り入れた1日当たりの総騒音量の単位であり、環境基準の評価単位として採用されている。

- 備考
- ① 測定値は、70dB以上かつ5秒以上の自衛隊機・民航機の両方の騒音を含んでいます。(市・道の騒音測定の通常の取り扱いと同様)
 - ② 上記表中の「-」は航空機騒音の観測が無かったことを表しています。
 - ③ 訓練移転期間中及び平成20年度のW値は参考値です。

常時測定局及び測定点の騒音測定結果

北海道防衛局

測定 月日	測定場所 機種・飛行時刻			常時測定局(ピーク騒音レベル(dB))					測定点(ピーク騒音レベル(dB))								
				苫小牧市	千歳市				千歳市					苫小牧市			
				A	B	C	D	E	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	
				沼ノ端局	寿局	住吉局	都局	青葉局	末広中公園	武道館	千歳公園	青葉局	北新コミセン	植苗南町内会集会所	清流公園	勇弘9号公園	
4月20日	移動	午後	着陸	FA18×5機 (米軍機)	—	—	101.9	98.4	97.4	83.8	90.4	97.1	97.4	59.8	—	—	—
4月21日	訓練	訓練中止		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4月22日	訓練	午後	離陸	F15×4機 (自衛隊機)	—	88.4	99.8	87.1	104.2	93.2	91.9	90.6	104.2	84.8	—	—	—
				FA18×4機 (米軍機)	—	87.2	100.3	93.0	103.1	96.7	96.5	92.6	103.1	88.5	—	—	—
			着陸	F15×4機 (自衛隊機)	—	—	88.2	81.7	88.5	70.6	72.0	78.1	88.5	55.5	—	—	—
				FA18×4機 (米軍機)	—	—	106.2	94.2	108.9	85.1	92.0	100.0	108.9	66.9	—	—	—
4月23日	移動	午前	離陸	FA18×5機 (米軍機)	—	86.9	101.9	97.1	103.6	98.2	97.6	94.6	103.6	84.9	—	—	—

※ No.4は常時測定局の青葉局

(常時測定局は通常無人で測定を行っているところ、日米共同訓練時には測定員を配置し機種及び機数の確認を実施)

(参考)

北海道防衛局

常時測定結果 (W値)

○日米共同訓練に参加した自衛隊機、米軍機並びに訓練以外のすべての航空機から算定した数値

測定場所 測定日		WECPNL (W値)				
		苫小牧市	千歳市			
		A	B	C	D	E
		沼ノ端局 (75W以上80W未満)	寿局 (80W以上85W未満)	住吉局 (85W以上90W未満)	都局 (75W以上80W未満)	青葉局 (90W以上95W未満)
訓練移転 期間 (中止日を除く)	4月20日 移動日	56.5	74.0	83.3	74.5	87.3
	4月22日	66.3	74.4	84.1	74.1	87.6
	4月23日 移動日	74.9	76.8	86.0	74.0	90.7
平成21年 過去3ヶ月	1月 最大W値	69.8	77.3	80.7	68.5	84.5
	2月 最大W値	76.7	76.1	81.2	72.4	85.2
	3月 最大W値	69.8	77.1	82.3	69.9	87.5
平成18年	4月 最大W値	71.3	78.2	86.4	76.8	—
平成19年		74.3	78.1	86.9	75.9	—
平成20年		68.1	77.0	84.8	73.0	89.2

※ 青葉局については平成20年4月から運用開始

WECPNL (W値) とは

航空機騒音の「うるささ」を表す単位であり、発生時間帯（昼間、夕方、夜間）など諸要素を加味した総合的評価指数。「加重等価継続感覚騒音レベル」のこと。

評 価

○騒音測定結果について

苫小牧市、北海道の各常設局における測定値については、全て、平成20年度の当該局の最高値を下回っていました。

※ 今回の臨時局を含めた訓練移転での米軍機及び自衛隊機の最高値

FA18(米軍機) 美沢局(道) 77dB(4/22 離陸時、4/23 帰還時)

F15(自衛隊機) 観測データなし

○国の推定値(FA18の苫小牧側離着陸時騒音)との比較について

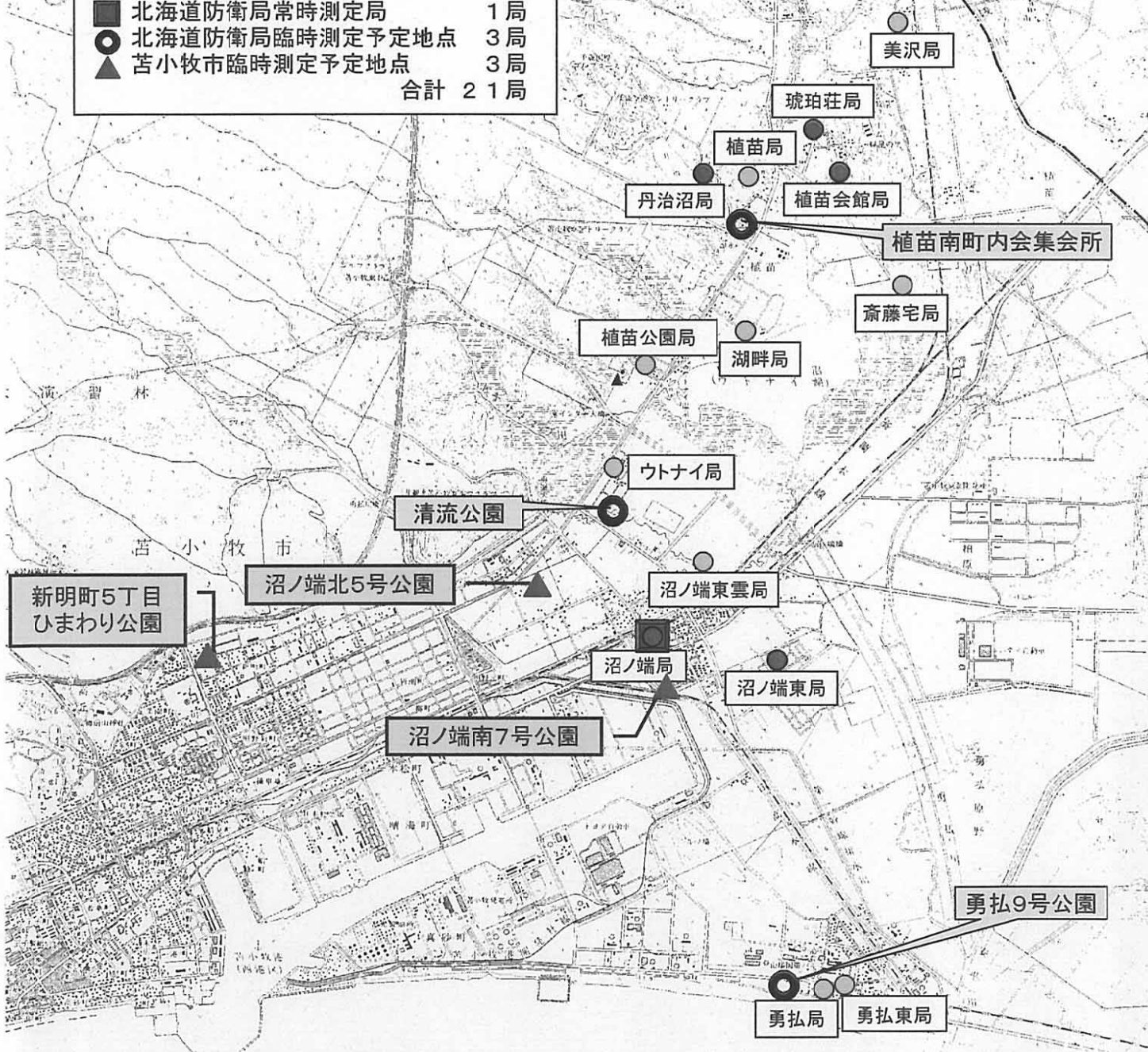
今回の訓練は、全て千歳側離着陸でしたので、比較できませんでした。

○WECPNL値(うるささ指数)について

苫小牧市、北海道、国の各常設局における訓練移転期間中の日W値については、過去3年の同月及び直近3ヶ月の日最大値と比較して、4月23日分の植苗公園局(道)、勇払局(道)で1W上回っていました。他の日W値は下回っていました。

平成21年4月訓練移転に伴う騒音測定地

- | | | |
|---|----------------|--------|
| ○ | 北海道常時測定局 | 9局 |
| ● | 苫小牧市常時測定局 | 5局 |
| ■ | 北海道防衛局常時測定局 | 1局 |
| ○ | 北海道防衛局臨時測定予定地点 | 3局 |
| ▲ | 苫小牧市臨時測定予定地点 | 3局 |
| | | 合計 21局 |



米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する 連絡協議会（訓練検証）の結果

北海道

- ・ 事件・事故もなく無事訓練が終了した。
- ・ 騒音については、速報値で米軍機の騒音は、自衛隊よりも総じて若干大きい傾向が見られましたが、これまでの最大値を超える騒音は測定されなかったと聞いている。
- ・ 今後の訓練においても、これまで同様
千歳市、苫小牧市と北海道防衛局との間の協定の遵守。
訓練日程の早期通知など、適切な情報提供。
事件・事故が発生しないよう、安全対策に万全を期すこと。
などについてよろしく願いしたい。
- ・ 併せて、外出時における事件事故の防止に努めていただくようお願いする。

千歳市

- ・ 今回の訓練は、協定の遵守をはじめとして、訓練の2段階通知による事前公表、国設置の連絡協議会の開催ほか、市民等の対応窓口となる現地連絡本部の設置など、これまで過去2回の訓練と同様に、国と協議してきた事項について、適切に実行されたものと受け止めている。
- ・ 訓練期間中の事件・事故などの報告もなく、無事訓練が終了したが、次回の対応につきましても同様の対応をお願いするものである。
- ・ 市が実施した、騒音測定の速報値の状況を見ると、22日に実施した訓練において、当市の測定局において、米軍のF A - 18戦闘機の着陸時に116デシベルを記録している。
- ・ 自衛隊機のF - 15戦闘機に比べ、F A - 18戦闘機は着陸時に騒音値が大きい傾向にあるという結果になっているが、一般的に騒音値は、風向き、気象条件、飛行方法などで異なり、この数値をもって直ちに評価するのは難しいものがあると思うが、引き続きデータを蓄積して行く。
- ・ 今後とも、市民の安心・安全確保のため、様々な対応について特段の配慮

を改めてお願いする。

苫小牧市

- ・ 訓練開始前の米軍のブリーフィング及び現地説明会については、住民代表の参加を含め今後も継続していただきたい。また、限られた時間とは理解しているが、質問の時間に配慮いただくとともに丁寧に対応していただきたい。
- ・ 訓練の検証の場は必ず設けるとのことで、本日この連絡協議会が開催されていると思いますが、騒音の検証ばかりではなく訓練全般の検証と理解しております。
訓練終了後、内部での反省や地域の方々からの意見等も集約したいと思いますので、もう少し時間的な余裕について考慮願いたいと思います。
- ・ 国設置の臨時騒音測定局については、今後の訓練時においても、同位置にて継続していただきたい。

質問事項

- ・ 今回参加した米軍人について、パイロット・連絡要員・整備要員などの内訳を教えてください。
- ・ 現地連絡本部に確認させていただきましたが、明確な回答をいただけなかったので質問させていただきますが、米軍人の外出及び外泊の状況につきまして、教えてください。

回 答【 北海道防衛局 】

- ・ 協定の遵守については、引き続き守った上で訓練を実施して行く。
- ・ 情報提供については、引き続き可能な限り努力して行きたい。警察などの関係機関とは、事前の情報提供や調整などの連携を密に行きたい。

- ・ 事件、事故、安全対策については、防衛省として平素から米側に対し、隊員の教育や綱紀粛正の徹底を図ることなどを様々なレベルで申し入れている。
今回、現地に来た米軍にも申し入れている。合わせて戦闘機の安全点検についても改めて申し入れており、引き続き訓練移転の安全確保について米軍に求めて行く。
- ・ 市民の安全安心については、現地連絡本部を設置し、情報提供や問い合わせ対応を行っており、今後も努力を重ねて行きたい。
- ・ 現地説明会と米軍ブリーフィングは、今回は米軍に申し入れたところ、米側も積極的に対応してくれた。前は空軍、今回は海兵隊と入れ替わりで来ているが、今後の状況を見ながら、どうして行くか判断したい。
- ・ 現地説明会の時間確保や丁寧な対応をとという点は、当日の米軍機の飛来が早まってしまったという時間の制約もあり、質問時間を前回より延ばしたが、時間内に収まりきらなかったようなので、効率的な説明会を限られた時間内に行えるよう今後も努力を重ねて行きたい。
- ・ 本日の連絡協議会開催までの時間的な余裕がもう少し欲しいとの意見でしたが、連休に入る前に行わないと、訓練から時間が空いてしまうという事情があったので、ご理解いただきたい。
- ・ 臨時騒音測定局の同位置継続設置については、基本的には継続して行きたいと考えている。
- ・ 米軍人の内訳については、「パイロットのほか支援要員」という区分しか分からない。部隊の運用体制に係ることなので、なかなかお答えできないのでご理解いただきたい。
- ・ 米軍人の外出、外泊について、外出は連日あった。
外出先は主に千歳市、札幌市内。期間中の外泊はなかった。

検 証 結 果

- ・ 過去の訓練と同様に、国が設置した連絡協議会の開催のほか、直接市民との対応窓口となる現地連絡本部が設置され、また、訓練計画の通知も2段階であり、地域説明会の開催など事前準備を予定どおりに行うことができた。
- ・ 住民代表も参加しての現地説明会、米軍によるブリーフィングが開催された。
- ・ ホームページの掲載及び庁内の情報伝達について、書式等も情報ごとに整理され前回同様にスムーズな公表・伝達を行うことができた。
- ・ 訓練移転についての商工会議所への説明時に、次回以降は文書のみの連絡で良いとの意見があり、協議の結果、今後は次のように取り扱うこととする。
 - 商 工 会 議 所：訓練タイプが同じ場合は文書通知とするが、タイプが異なる場合は、従来どおり説明を行う。
 - 町内会連合会：従来どおり概略通知時に持参説明し、詳細通知は郵送の対応とする。
 - その他関係機関：警察、医師会等の関係機関については、概略通知時に持参説明し、詳細通知は郵送とする。
- ・ 航路下の地域説明会の案内について、課題であった植苗・美沢地区の以外の周知について、沼ノ端地区は新聞折込みを2回、勇払地区は、新聞折込みとは別に町内会の協力を得て全戸配布を行った。
- ・ 航空自衛隊千歳基地内への派遣職員との連絡体制も良好であり、今後も継続して派遣したいと考える。

- ・ 騒音測定結果については、訓練及び飛来、帰還のいずれもが千歳側の離着陸であったため、米軍機の離陸時の騒音を植苗地区で観測したが、測定値はすべて通常の騒音の範囲内であった。
- ・ 機構改革により「危機管理室」が設置され、次回以降の訓練時からの「危機管理室」の関わりを明確にしなければならない。
- ・ 訓練終了後の検証のための国の協議会が訓練終了後3日後に開催されたが、内部での反省や地域の方々からの意見も集約したいので、もう少し時間的な余裕が欲しい。
- ・ 苦情、問い合わせ等はなかった。

苫小牧市航空機騒音対策協議会の意見

- ・ 滑走路の補修工事が終わると、また訓練移転が始まるのと思っているが、今回は天候が悪く本格的な訓練が行われていない状況であり、今後の訓練状況を見てみたい。

国内の米軍基地での騒音発生回数の推移

飛行場	年度	測定地点	1日当たりの平均騒音発生回数	年間騒音発生回数	備考
1 嘉手納飛行場	平成16年度	(H17.12局より回答された数値)	197	72,000	
	平成17年度	嘉手納基地内(国道側)北谷町	116	41,810	
		嘉手納基地内(県道側)沖縄市	65	23,318	
		滑走路両端計	181	65,128	
	平成18年度	嘉手納基地内(国道側)北谷町	109	39,948	
		嘉手納基地内(県道側)沖縄市	66	24,002	
		滑走路両端計	175	63,950	
	平成19年度	嘉手納基地内(国道側)北谷町	104	37,794	
		嘉手納基地内(県道側)沖縄市	58	21,230	
		滑走路両端計	162	59,024	
	平成20年度	嘉手納基地内(国道側)北谷町	97	35,286	
		嘉手納基地内(県道側)沖縄市	59	21,514	
		滑走路両端計	156	56,800	
2 岩国飛行場 (自衛隊機含む)	平成16年度	(H17.12局より回答された数値)	137	50,000	
	平成17年度	岩国基地滑走路南側	62	22,620	
		岩国基地滑走路北側	66	24,144	
		滑走路両端計	128	46,764	
	平成18年度	岩国基地滑走路南側	75	27,537	
		岩国基地滑走路北側	75	27,462	
		滑走路両端計	150	54,999	
	平成19年度	岩国基地滑走路南側	72	26,321	
		岩国基地滑走路北側	72	26,237	
		滑走路両端計	144	52,558	
	平成20年度	岩国基地滑走路南側	68	23,250	
		岩国基地滑走路北側	67	24,237	
		滑走路両端計	135	47,487	
3 三沢飛行場 (自衛隊機、 民航機含む)	平成16年度	(H17.12局より回答された数値)	186	68,000	
	平成17年度	飛行場内(西)	97	35,385	
		飛行場内(東)	99	36,254	
		滑走路両端計	196	71,639	
	平成18年度	飛行場内(西)	97	35,325	
		飛行場内(東)	99	35,969	
		滑走路両端計	196	71,294	
	平成19年度	飛行場内(西)	93	33,794	
		飛行場内(東)	93	33,677	
		滑走路両端計	186	67,471	
	平成20年度	飛行場内(西)	84	30,401	
		飛行場内(東)	85	30,710	
		滑走路両端計	169	61,111	